

和歌山県白浜町の海岸に漂着したサケガシラ (フリソデウオ科)の最近の記録

新稲一仁*・久保田信**

Kazuhito NIINA and Shin KUBOTA: A recent stranding record of *Trachipterus ishikawae* (Trachipteridae)
on the shore of Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan

フリソデウオ科に所属するサケガシラ *Trachipterus ishikawae* JORDAN et SNYDER は、わが国では各地の沖合いの中深層域に生息する魚であり、当該科の他種と同様に食用としての価値は低い。普段はたたみ込まれているが、伸出可能な口を持つ点は本科の一つの特徴である。和歌山県沿岸では1971年以降に少なくとも18例のサケガシラの記録があり、そのうち白浜町での8例の漂着や出現記録からわかるように(久保田・田名瀬, 2004; 榎山・田名瀬・久保田, 2004; 久保田, 2006), 何らかの理由で時として表層へ浮上して来る場合もある。今回, 2008年4月20日に和歌山県白浜町では4年ぶりの記録となる本種の漂着を1例だが確認したので報告する。

当該サケガシラは白浜町の県道三段鴨居線の下の海岸, 外洋に面した通称「大浜」で漂着死亡しているのが発見された。漂着直後にカラス等の鳥類による頭部損傷を目撃したものの, ほぼ完全な姿を保った状態で打ち上げられていた(図1)。ただし尾部に多少の欠損があった。全長は172.5 cmを計測した。

本個体は和歌山県下でのこれまでの記録個体(久保田・田名瀬, 2004; 榎山・田名瀬・久保田, 2004; 久保田, 2006)の中では最小個体ではなかったものの, 前例記録の大半が2 mを超過しているので小形である。漂着の因果関係

は, 白浜町の2個体の雄(2004年1月と4月に生体で漂着)については, 内部形態を精査することにより老衰による体の衰弱と推察されているが(HONMA et al., 2005), 本例については不明である。本例は和歌山県下で4月に漂着した2例目となったが, 上記18例中の9例が1-3月の記録なので, 本事例は時期的には特異なものではない。

引用文献

- HONMA, Y., T. USHIKI, M. TAKEDA & S. KUBOTA. 2005: Histological studies on some organs of two male dealfishes, *Trachipterus ishikawae*, caught on the beach of Shirahama, Wakayama Prefecture, Pacific coast of Japan. Publ. Seto Mar. Biol. Lab., 40(3/4), 199-205, pls., 3-4.
- 榎山嘉郎・田名瀬英朋・久保田 信. 2004: フリソデウオ科生体の和歌山県沿岸の出現記録. 漂着物学会誌, 2(1), 31-32.
- 久保田 信. 2006: in 宝の海から 白浜で出会った生き物たち. 64-65, 68-69, 図版19. 紀伊民報, 田辺市.
- ・田名瀬英朋. 2004: サケガシラ(フリソデウオ科)の和歌山県白浜町およびその近郊の沿岸への出現記録. 南紀生物, 46(1), 61-62.



図1 和歌山県白浜町に2008年4月に漂着したサケガシラ(スケールは30cm)

Fig. 1. *Trachipterus ishikawae* stranded on the shore of Shirahama Town, Wakayama Prefecture in April, 2008 (Scale is 30 cm).

* 〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1622-222

** 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所